

今回歩くのはアプリの中のこの地図 《城下町エリア》

田辺城西側石垣修復伺図控

田辺城の石垣の修復について、元禄5（1692）年に江戸幕府に願い出た時の図面。田辺城は細川幽斎の築城の後、田辺藩主となった京極氏や牧野氏によって拡張。石垣や堀で区画され、本丸を中心に外側に二の丸・三の丸が配置されていました。舞鶴の地名はこの田辺城の別名「舞鶴城」から付けられたといえます。



3 天守台に到着～！



2 西支所の隣の側溝は田辺城の堀やったんやって！



1 現在のうのもり神社は昔からあって、城に取り込まれていたんやね。

《鎮守府エリア》

新舞鶴市街地図(第5版)

新舞鶴町(今の東舞鶴市街地)の案内図。明治34（1901）年の海軍舞鶴鎮守府開庁に向けて当時の最新技術で整備された軍港施設と碇盤の目の街路。整然と区画された都市計画は「日本の20世紀遺産20選」に選定されています。海軍のまちらしく市街地の通りには軍艦の名前が付けられています。



3 北吸トンネルは鉄道の路線やったんやね！



2 共済病院は昔から病院やったらしいよ。



実際歩いてみて…今と昔が見比べられるので面白いですね。子ども達の夏休みの自由研究とかにもいいかも！

1 五条のローソンのあたりには海軍の上陸場の待合所があったんや！今も昔もホットステーションやね。

